

● 水以外が付着した場合

- ・万一、水以外(海水・洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- ・やや弱めの水流(6リットル/分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。
- ・汚れた場合、ブラシなどは使用せず、**ICカード**／microSDメモリーカードトレイが開かないように押さえながら手で洗ってください。

● 水に濡れた後は

- ・水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- ・寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したまま使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

● ゴムパッキンについて

- ・**ICカード**／microSDメモリーカードトレイ周囲のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- ・**ICカード**／microSDメモリーカードトレイを開める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでさえ挟まると浸水の原因となります。
- ・水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- ・**ICカード**／microSDメモリーカードトレイの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付いたりするおそれがあり、浸水の原因となります。
- ・防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くの**ショップ**までご連絡ください。

● 耐熱性について

- ・熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

● 防塵について

- ・塵埃が本製品に付着したときには、直ちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。

● 衝撃について

- ・本製品は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

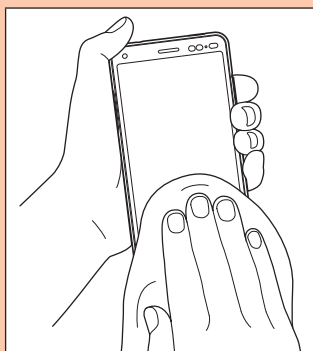
- ・本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ・本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子にUSB Type-Cプラグを接続したり、卓上ホルダに差し込んでください。
- ・外部接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。
- ・濡れた手で指定の充電用機器(別売)、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- ・指定の充電用機器(別売)、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

水に濡れたときの水抜きについて

本製品が水に濡れた場合、必ず送話口(マイク)、受話口(レシーバー)／スピーカーの水抜きをしてください。そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

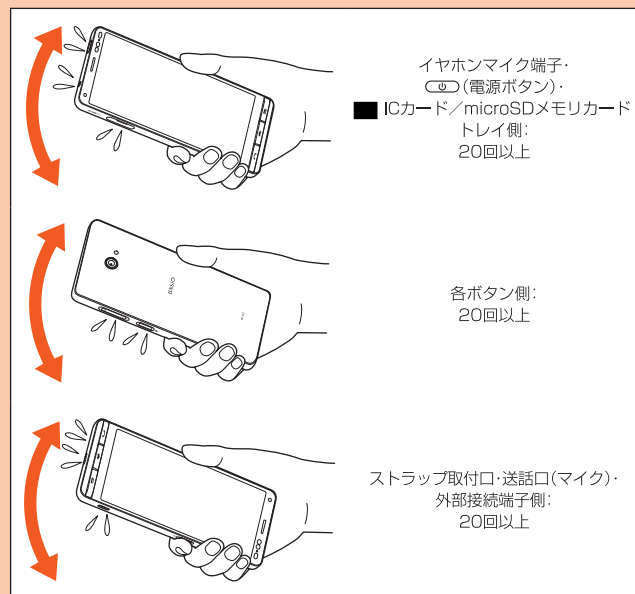
次の手順で水抜きを行ってください。

1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



2 振りかたについて

- ①本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。
- ※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
 - ※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



イヤホンマイク端子・
電源ボタン・
ICカード／microSDメモリーカード
トレイ側:
20回以上

各ボタン側:
20回以上

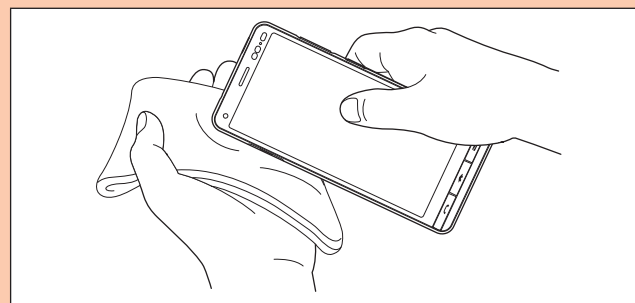
ストラップ取付口・送話口(マイク)・
外部接続端子側:
20回以上

- ②出てきた水分を拭き取ります。

※ 送話口(マイク)、受話口(レシーバー)／スピーカー、外部接続端子部、イヤホンマイク端子部や各ボタンは特に水が抜けにくいので、押し付けるように各部分を下側に拭き取ってください。

- ③乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、送話口(マイク)・受話口(レシーバー)／スピーカー・外部接続端子部・イヤホンマイク端子部などの隙間に入った水分を拭き取ってください。



4 本製品から出た水分を十分に取り除いてから乾いたタオルや布の上に置き、常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。

また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- ・本製品のBluetooth®機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- ・一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- ・一部の国／地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

IEEE802.11b/g/n
IEEE802.11a/n/ac
152 W52 W53 W56

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、■ショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- ・Bluetooth®機能: 2.4FH1/XX1

2.4FH1/XX1

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- ・無線LAN(Wi-Fi®)機能: 2.4DS4/OF4

2.4DS4/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内での使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

5.2GHz/5.3GHz帯(W52/W53)の屋外使用は電波法で禁止されています。但し、5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局、陸上移動中継局との通信を除きます。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- ・W52 (5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch)
- ・W53 (5.3GHz帯／52, 56, 60, 64ch)
- ・W56 (5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。
なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② お客さまセンター音声応答、■ホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ スタート画面のセキュリティの設定

使用例	セキュリティの設定／解除をする場合
初期値	お買い上げ時の初期設定に従う

PINコードについて

■ PINコード

- 第三者による■ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。
- PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。
- ・お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は入力が不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は入力が必要な設定に変更できます。
 - ・入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更の上ご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- ・PINロック解除コードは、■ICカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- ・PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- ・PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、■取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- ・PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- ・本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ・本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※ 無線LAN(Wi-Fi®)の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- ・アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや携帯電話全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ・万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・アプリケーションによっては、microSDメモリーカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- ・アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- ・本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可を求める画面が表示されます。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「許可」／「許可しない」をタップしてください。

- ・アプリ／機能によっては「常に許可する」「アプリの使用のみ許可」などが表示される場合があります。

例:写真／動画を初めて起動した場合

1 アクセス権限の確認画面→[許可]／[許可しない]

通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。
利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

アプリごと／機能ごとに設定する

■ アプリごとに設定する場合

1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[アプリと通知]

2 [XX個のアプリをすべて表示]→アプリを選択→[権限]→機能を選択→[許可]／[許可しない]

■ 機能ごとに設定する場合

1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[アプリと通知]

2 [権限マネージャ]→機能を選択→アプリを選択→[許可]／[許可しない]



memo

- ◎ 許可をしないアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- ◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

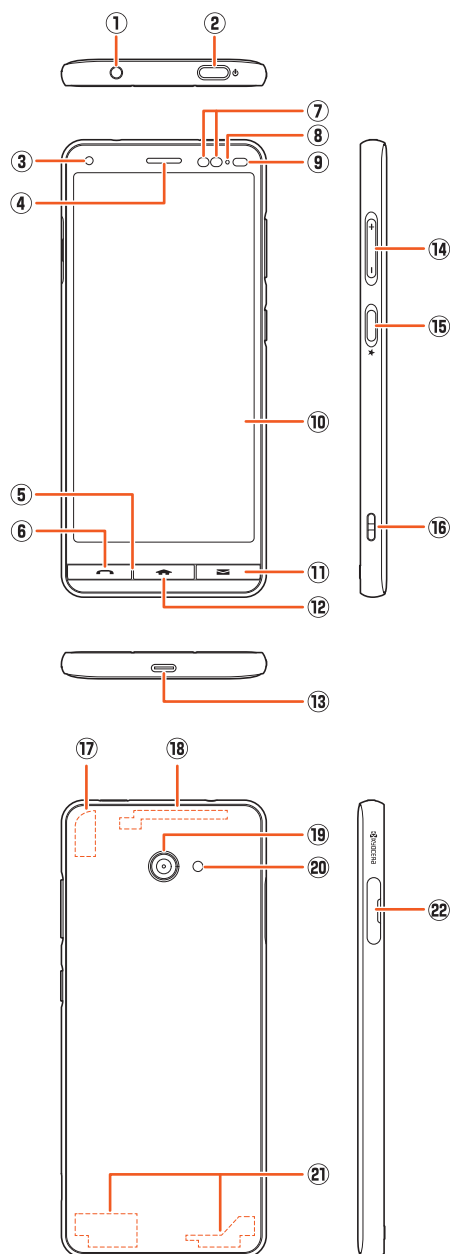
- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まるとの通話や操作は控えましょう。
- ・新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- ・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

- ご利用の準備 16
 - 各部の名称と機能 16
 - ICカード(SIMカード)について 17
 - ICカードを取り付ける／取り外す 17
 - 充電する 18
 - 電源を入れる／切る 19
 - スタート画面について 20
 - 初期設定を行う 20

ご利用の準備

各部の名称と機能



- ① イヤホンマイク端子
イヤホン(市販品)などの接続時に使用します。
- ② 電源ボタン
電源オン/オフやスリープモードの移行/解除などに使用します。
- ③ インカメラ(レンズ部)
- ④ 受話口(レシーバー)/スピーカー
ダイナミックレシーバーで通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。また、着信音やアラーム音などが聞こえます。
- ⑤ 送話口(マイク)
通話中の相手の方はこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中や動画の録画中は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。
- ⑥ 電話ボタン
電話をかけたときや受けるとき、通話中の電話を切るときに使用します。また、不在着信があるときには点滅してお知らせします。
- ⑦ 赤外線ポート
赤外線通信で、データの送受信を行います。
- ⑧ 充電ランプ
充電中は赤色で点灯します。
- ⑨ 近接センサー/光センサー
近接センサーはタッチパネルの誤動作を防ぎます。
また、光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑩ ディスプレイ(タッチパネル)
- ⑪ メールボタン
■メール/SMSを送信するときや確認するとき使用します。また、■メール/SMS受信時には点滅してお知らせします。
- ⑫ ホームボタン
ホーム画面に戻ります。
- ⑬ 外部接続端子
卓上ホルダやTypeC共通ACアダプタ02(別売)などの接続時に使用します。
- ⑭ 音量上/下ボタン
音量を調節します。
- ⑮ ダイレクトボタン
長く押すと、設定した機能が動作します。
- ⑯ ストラップ取付口
- ⑰ 内蔵GPS/Wi-Fi®/Bluetooth®アンテナ部*
- ⑱ 内蔵サブアンテナ部*
- ⑲ アウトカメラ(レンズ部)
- ⑳ 撮影ライト/ライト
- ㉑ 内蔵メインアンテナ部*
- ㉒ ICカード/microSDメモリーカードトレイ

* アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

memo

- ◎ 近接センサー/光センサー上にシールなどを貼らないでください。
- ◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。背面を無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となります。
- ◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切り再起動する場合は、「強制的に電源を切り再起動する」(▶P.19)をご参照ください。

電話、ホーム、メールについて

本製品は、電話をかけたり、ホーム画面を表示したり、メールの作成が便利にできるよう、ディスプレイの下部に [電話ボタン]、[ホームボタン]、[メールボタン] (メールボタン) を搭載しています。

また、[電話ボタン]/[ホームボタン]/[メールボタン] を押してスリープモードを解除することもできます。スリープモード中に各ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

- [電話ボタン]: 電話アプリを起動します。
- [ホームボタン]: ホーム画面を表示します。
- [メールボタン]: メールアプリの選択画面を表示します。

- ・電話がかかってきたときや不在着信があるときは [電話ボタン] が点滅し、点滅中に [電話ボタン] を押すと電話に出たり、履歴を確認したりすることができます。
- ・■メールや+メッセージ(SMS)を受信したときは [メールボタン] が点滅し、点滅中に [メールボタン] を押し、■メール/「+メッセージ(SMS)」をタップすると受信メールを確認できます。

memo

- ◎ 誤動作防止のため、ディスプレイ消灯時の [電話ボタン]、[ホームボタン]、[メールボタン] の操作を無効にすることもできます。詳しくは、「画面消灯中のボタン操作」(▶P.65)をご参照ください。

ICカード(SIMカード)について

ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品は Nano IC Card 04に対応しております。



memo

- ◎ ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ ICカードを正しく取り付けしていない場合や ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外した ICカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けた ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

ICカードが挿入されていない場合

ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。

- ・ 電話をかける* / 受ける
- ・ +メッセージの送受信
- ・ メールの初期設定および送受信
- ・ PINコード設定
- ・ 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

※ 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります(なお、緊急通報番号は国によって異なります)。

PINコードによる制限設定

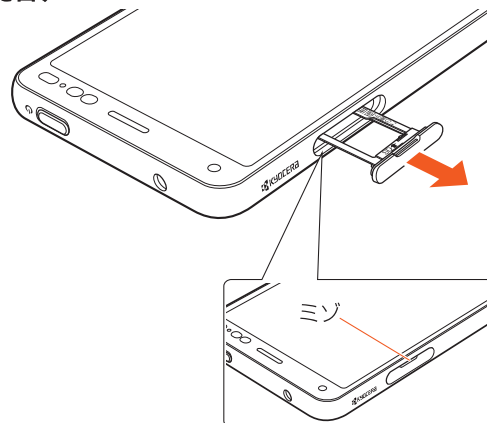
ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます(▶P.12「PINコードについて」)。

ICカードを取り付ける / 取り外す

- ・ ICカードの取り付け/取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

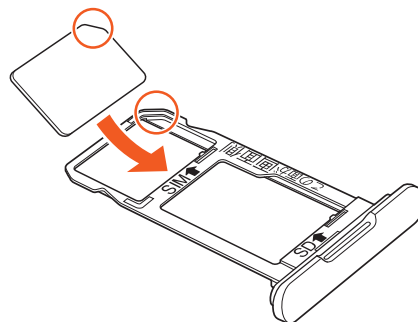
ICカードを取り付ける

- 1 ICカード / microSDメモ리카ードトレイを、ICカード / microSDメモ리카ードトレイのミゾに指先をかけて、まっすぐに引き出す



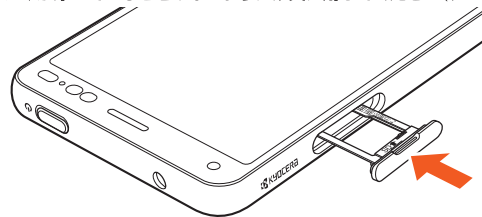
- 2 ICカードのIC(金属)部分を下にして ICカード / microSDメモ리카ードトレイにはめ込む

- ・ 切り欠きの位置にご確認ください。
- ・ ICカード / microSDメモ리카ードトレイのツメの破損を防ぐため、ICカードを矢印の方向にすべり込ませるように取り付けてください。
- ・ ICカードが ICカード / microSDメモ리카ードトレイから浮かないようにはめ込んでください。



- 3 ICカード / microSDメモ리카ードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む

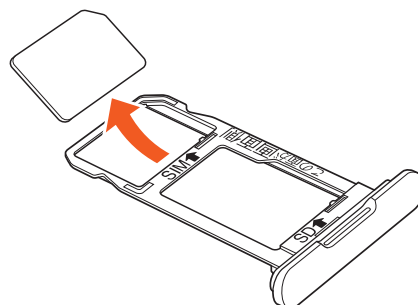
- ・ トレイが浮いていることのないように確実に閉じてください(▶P. 10)。



ICカードを取り外す

- 1 ICカード / microSDメモ리카ードトレイを、ICカード / microSDメモ리카ードトレイのミゾに指先をかけて、まっすぐに引き出す(▶P.17)

- 2 ICカードを ICカード / microSDメモ리카ードトレイから取り外す



- 3 ICカード / microSDメモ리카ードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む(▶P. 17)

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが緑色に変わったら充電完了です。

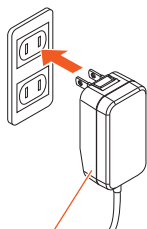
memo

- ◎ ACアダプタおよび卓上ホルダは、防水対応していません。本製品が濡れているときは、絶対に充電しないでください。
- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
- ◎ 指定の充電用機器（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります、電池のもちが悪くなります。
- ◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、ショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ◎ 接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

指定のACアダプタを使って充電する

TypeC共通ACアダプタ02（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器」(▶P.82)をご参照ください。

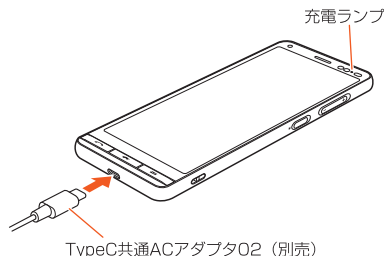
1 TypeC共通ACアダプタ02（別売）の電源プラグをコンセント（AC100V～240V）に差し込む



TypeC共通ACアダプタ02（別売）

2 TypeC共通ACアダプタ02（別売）のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「B」が表示されます。充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。



TypeC共通ACアダプタ02（別売）

3 充電が完了したら、外部接続端子からTypeC共通ACアダプタ02（別売）のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く

4 TypeC共通ACアダプタ02（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

memo

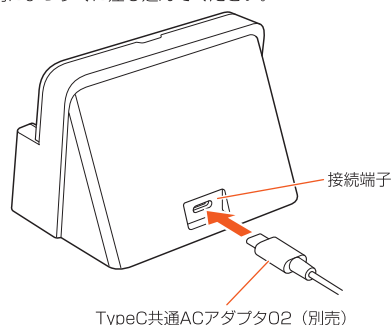
- ◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

卓上ホルダを使って充電する

同梱の卓上ホルダとTypeC共通ACアダプタ02（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定の充電用機器（別売）については、「周辺機器」(▶P.82)をご参照ください。

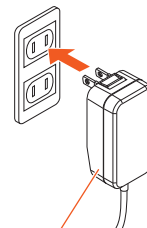
1 TypeC共通ACアダプタ02（別売）のUSB Type-Cプラグを卓上ホルダの接続端子にまっすぐに差し込む

USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。矢印の方向にまっすぐに差し込んでください。



TypeC共通ACアダプタ02（別売）

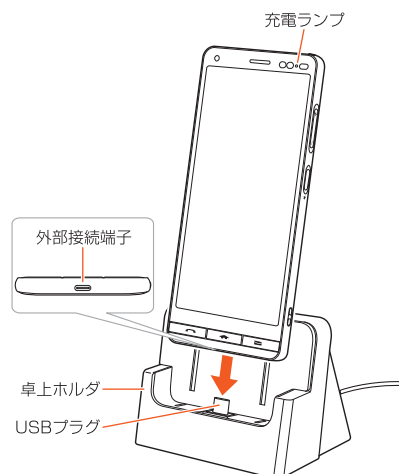
2 TypeC共通ACアダプタ02（別売）の電源プラグをコンセント（AC100V～240V）に差し込む



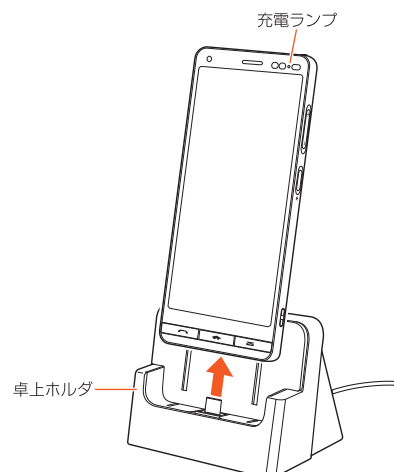
TypeC共通ACアダプタ02（別売）

3 本製品のディスプレイ側を正面に向け、外部接続端子側を下にして卓上ホルダのUSBプラグに奥まで差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。



4 充電が完了したら、本製品を卓上ホルダから取り外す



5 TypeC共通ACアダプタ02（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

スタート画面について

スタート画面は、電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

スタート画面からホーム画面を表示する

スタート画面が表示されたときは、次の操作でホーム画面を表示できます。

1 画面を左にスライド

ホーム画面が表示されます(▶P.22)。またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。

- 画面上部に「」が表示されている場合は、スタート画面の「セキュリティの種類」(▶P.64)が「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」に設定されています。セキュリティロックを解除するとホーム画面が表示されます。
- Smart Lock(▶P.64)が設定されている状態でSmart Lockが一時的に解除されている場合は、画面上部に「」が表示され、設定しているセキュリティ解除方法が実行されます。
- ホーム画面の説明が表示された場合は、内容を確認し「OK」をタップしてください。



《スタート画面》

① 時計表示

② 通知表示

不在着信などのお知らせを表示します。

・通知をダブルタップすると通知されたアプリを起動します。



memo

- 「セキュリティの種類」(▶P.64)が「なし」の場合は、スタート画面は表示されません。
- 背景を変更したい場合は「画面の設定をする」(▶P.63)をご参照ください。

スリープモードについて

画面のバックライト点灯中に (電源ボタン)を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に (電源ボタン)を押す

スタート画面が表示されます(▶P.20)。



memo

- スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、ホーム画面→[設定]→[その他]→[ディスプレイ]→[画面消灯]と操作して、時間を選択します。
- スリープモード中に (電源ボタン)を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

詳しくは、同梱の「かんたんマニュアル」をご参照ください。

- ・設定を行わない場合は、各操作で「スキップ」「次へ」などをタップした後、画面の指示に従って操作してください。

1 「日本語(日本)」が表示されていることを確認して[開始]

- ・「日本語(日本)」をタップすると、使用する言語を変更できます。

2 Wi-Fi®ネットワークを設定

3 本製品をセットアップする

- すでにご使用のAndroid端末からGoogleアカウントやアプリなどのコピーができます。

4 Googleアカウントの設定を行う

5 Googleサービスなどの内容を確認する

6 スマートフォンの保護の設定を行う

7 Googleサービスの設定を確認する

8 Googleアシスタントの設定を行う

9 その他の設定項目の設定を行う

10 「初期設定」を必要に応じて設定

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリを初めて起動したときなどに表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面

■ Googleアカウントをすでにお持ちの場合

2 メールアドレスまたは電話番号を入力→[次へ]

3 パスワードを入力→[次へ]

4 画面の指示に従って操作

■ Googleアカウントをお持ちではない場合

2 [アカウントを作成]→画面の指示に従って操作し、Googleアカウントを登録

■ ログインできない場合

1 ホーム画面→[インターネット]→URL表示欄を選択→

「<http://www.google.com/accounts/recovery/>」を入力→[実行]

2 画面の指示に従って操作



memo

- Googleアカウントをセットアップしない場合でも本製品をお使いになれますが、Duo、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

■ IDを設定する

■ IDを設定すると、■スマートバスやGoogle Playに掲載されているアプリの購入ができる「かんたん決済」の利用をはじめとする、■提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面→[設定]→[その他]→設定メニュー→ID

2 画面の指示に従って操作し、■ IDを設定

■ IDをすでに取得されている場合は、お持ちの■ IDを設定します。

■ IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

画面の指示に従って操作してください。

基本操作

基本操作	22
タッチパネルの使いかた	22
タッチキーの使いかた	22
縦／横画面表示を切り替える	22
ホーム画面を利用する	22
設定メニューについて	23
本製品の状態を知る	23
最近使用したアプリを起動する	24
マナーモードを設定する	24
メニューを表示する	24
スクリーンショットを撮影する	24
画面メモを利用する	24
ダイレクトボタンを利用する	25
ワンタッチボタンを利用する	25
文字入力	25
文字を入力する	25
文字入力の便利な機能を利用する	26
iWnn IMEの各種設定を行う	27

基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- 以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - シート類(市販の保護フィルムや視き見防止シートなど)やシールなどを貼った状態での操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - 水中での操作

■ タップ／ダブルタップ

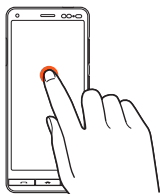
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



■ ロングタッチ

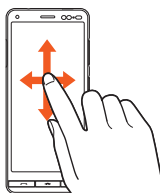
項目などに指を触れた状態を保ちます。

- ロングタッチの時間は設定することができます(▶P.65)



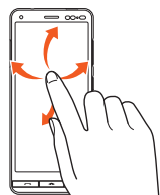
■ スライド／スワイプ

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



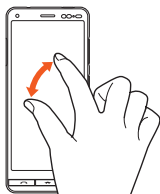
■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはうように操作します。



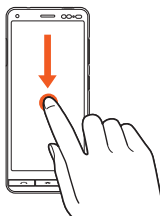
■ ズームイン／ズームアウト

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ズームイン)、閉じたり(ズームアウト)します。



■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



タッチキーの使いかた

画面下部に次のタッチキーが表示されます。

表示	概要
戻る	1つ前の画面に戻ります。
画面メモ	現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)します。 ▶P.24「画面メモを利用する」
アプリ履歴	アプリ使用履歴画面を表示します。

縦／横画面表示を切り替える

「画面の自動回転」をオンに設定すると、本製品の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えることができます。

- 1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[ディスプレイ]→「画面の自動回転」を「ON」にする

memo

- ◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に近い状態だと画面表示が切り替わらない場合があります。
- ◎ アプリによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。

また、を押すと、メインホーム画面を表示できます。



《ホーム画面（お買い上げ時）》

- 1 ステータスバー
- 2 検索
- 3 時刻／天気
- 4 アプリ／フォルダ
インストールされているアプリのアイコン／フォルダが表示されます。
- 5 ワンタッチボタン
- 6 インジケータ

memo

- ◎ 本書では、お買い上げ時の配置タイプのホーム画面からの操作を例に説明しています。
 - ◎ ホーム画面の壁紙を変更したい場合は、「画面の設定をする」(▶P.63)をご参照ください。
 - ◎ ダウンロードしたアプリは、ホーム画面に追加されます。
 - ◎ アプリの並べ替えについては、「ホーム画面のアプリ／フォルダ／ショートカットを並べ替える」(▶P.23)をご参照ください。
 - ◎ ウィジェットを追加するには、「ウィジェット画面にウィジェットを追加する」(▶P.23)をご参照ください。
 - ◎ ウィジェットを追加した場合は、ホーム画面を左にスライド／フリックすると、ウィジェット画面が表示されます。
 - ◎ メールやSMSなどの新着／未読メールがある場合、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
- フォルダについて**
- ◎ 複数のアプリが収納されたアイコンを「フォルダ」と呼びます。フォルダをタップすると、収納されたアプリを選択できます。フォルダを閉じるときは、「閉じる」をタップします。

パーソナルスクリーンfor を利用する

ホーム画面(右)で、左にスライド／フリックするとパーソナルスクリーンの画面が表示されます。パーソナルスクリーンでは、 IDの情報をもとに、個人に最適な情報を確認できるサービスです。

- 初回起動時は「利用する」をタップしてください。

- 1 ホーム画面(右)で左にスライド／フリック
- 2 確認したい情報をタップ

■ 天気アプリを利用する

「時刻／天気」では現在地の天気の情報が確認できます。

「時刻／天気」の部分をクリックして、登録したエリアの天気の情報を確認できるように設定できます。

■ 天気を確認するエリアを設定する

1 ホーム画面→「時刻／天気」の部分をクリック

2 「[エリアを追加する]」→画面に従って確認するエリアを選択→「追加」

「時刻／天気」の部分をクリックすると、設定したエリアの天気の情報が表示されるように設定されます。

- ・[現在地周辺] → [設定] と操作すると現在地周辺のエリアを設定します。

memo

◎ 天気アプリの画面で「他の地点」をクリックすると、設定した他の地域の天気情報を確認できます。

■ ホーム画面の設定をする

1 ホーム画面の空いたスペースをロングタッチ

ホーム画面メニューが表示されます。

2	ウィジェットを追加	▶P.23「ウィジェット画面にウィジェットを追加する」
壁紙設定	ホーム画面とスタート画面の壁紙を設定します。	
ホームの設定	ホーム画面のアプリアイコンに表示される通知件数の表示のON／OFFや、ワンタッチボタンの表示のON／OFFを設定します。また、ホーム画面のガイドを確認することができます。	

■ ホーム画面のアプリ／フォルダ／ショートカットを並べ替える

1 移動するアプリ／フォルダ／ショートカットをロングタッチ

2 移動する位置へドラッグして、指を離す→「完了」

memo

- ◎ アプリ／ショートカットをドラッグして他のアプリ／ショートカットに重なるとフォルダが作成され、複数のアイコンを収納できます。
- ◎ フォルダをクリックして、表示されるアプリをドラッグしてフォルダの外に移動すると、フォルダから移動することができます。
- ◎ アプリが1つになると、フォルダ表示は解除されます。

■ ウィジェット画面にウィジェットを追加する

1 ホーム画面メニュー→「ウィジェットを追加」

2 ウィジェットをロングタッチ→追加する位置へドラッグして、指を離す→「完了」

■ 設定メニューについて

ホーム画面の「設定」で、基本的な設定を行うことができます。

1 ホーム画面→「設定」

設定メニューが表示されます。

プロフィール	▶P.32「自分の電話番号を確認する(プロフィール)」
Wi-Fi	▶P.59「無線LAN(Wi-Fi®)機能」
壁紙	ホーム画面とスタート画面の壁紙を設定します。
音	音(▶P.64)に関する設定を行います。
スタート画面	▶P.63「スタート画面の設定を行う」
フォントサイズ	画面に表示されるフォントサイズを設定します。
ソフトウェア更新	▶P.80「ソフトウェアを更新する」
その他	その他の設定メニューを表示します(▶P.62)。

■ 本製品の状態を知る

■ アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着＋メッセージあり／新着SMSあり
	新着メールあり(メール)
	新着メールあり(Gmail)
	緊急速報メールあり
	スヌーズ中のアラームまたは解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	radiko+FMを再生中
	通話中または着信中
	伝言メモあり
	本体の空き容量が少ないとき
	他のBluetooth®機器からファイル受信リクエストあり
	データを送信／アップロード
	データを受信／ダウンロード
	インストール完了
	インストール済みアプリのアップデート通知
	ソフトウェア更新あり
	USBデジタリング中
	スクリーンショット完了
	microSDメモリカードのマウント中

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	時刻
	電池レベル状態
	100%／残量なし／充電中
	電波の強さ・通信状態(LTE／WiMAX 2+)／レベル4／圏外／通信中
	LTE／WiMAX 2+使用可能／ローミング中(ネットワークに応じた通信方式も合わせて表示します)
	機内モード設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ／レベル4／レベル0
	アラーム設定あり
	マナーモード(バイブレーション)設定中
	マナーモード(ミュート)設定中
	マナーモード(ドライブ)設定中
	Bluetooth®機器と接続中
	Wi-Fi®デジタリング中
	伝言メモ設定中
	伝言メモ設定中／伝言メモ全件録音済み
	VPN接続中
	GPS利用中
	データセーバー設定中

※ 日本国内においては、「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

通知パネルでは、お知らせの確認や対応するアプリの起動ができます。また、よく使う機能のオン/オフをすぐに設定することができます。

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

通知パネルを上にもスライドまたは「通知表示」をタップすると、不在着信などをお知らせする通知内容が表示されます。また、ホーム画面→「通知を見る」と操作しても、通知内容を確認することができます。



《通知パネル表示画面》

《通知内容表示画面》

- ① 日付時刻のエリア
- ② 画面の明るさ
スライダを左右にドラッグして、画面の明るさを調節します。
- ③ ON/OFF設定アイコン
よく使う機能のオン/オフなどを設定します。
- ④ 通知表示
不在着信などをお知らせする通知内容を表示します。
- ⑤ 通知消去
タップすると通知をすべて消去できます。ただし、消去できない通知もあります。
- ⑥ 通知管理
アプリからの通知をするかどうかを設定します。
- ⑦ 閉じるタブ
タップすると通知パネルを非表示にします。
- ⑧ お知らせ(通知)エリア
本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリが起動します。



memo

- ◎ 画面下部から上にスライドしても、通知パネルを非表示にすることができます。
- ◎ 通知を個別に消去するには、消去したい通知を左右にフリックします。

充電ランプについて

充電ランプの点灯により、充電中の充電状態が確認できます。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示します。
緑の点灯	充電が完了したことを示します。

最近使用したアプリを起動する

画面下部の「アプリ履歴」をタップすると、最近使用したアプリ表示の一覧が重なって表示されます。

1 【アプリ履歴】

最近使用したアプリ表示一覧画面が表示されます。

2 使用するアプリをタップ



memo

- ◎ 一覧からアプリを削除するには、操作 2 で削除したいアプリを左右にフリックまたは「消去する」をタップします。「すべて消去する」をタップすると、最近使用したアプリがすべて削除されます。

画面の固定について

- ◎ 「画面の固定」(▶P.64)がオンの場合、「」をタップすると画面を固定できます。画面を固定すると、固定した画面のアプリ以外の操作ができなくなります。
- ◎ 画面の固定中は以下の制限があります。
 - ・着信や第三者による位置検索ができなくなります。
 - ・他のアプリが正しく動作しなかったり、通知が表示されない場合があります。
- ◎ 固定を解除するには、「戻る」と「アプリ履歴」を同時にロングタッチします。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 (音量上ボタン) または (音量下ボタン) を押す

マナーモードアイコンと音量調節バーが表示されます。

2 マナーモードアイコンをタップしてマナーモードの設定を切り替える



マナーモード
アイコン
音量調節バー

マナーモードの種別を変更する

1 ホーム画面→[設定]→[音]→「マナーモード種別」の[変更]

2 [バイブレーション] / [ミュート] / [ドライブ]



memo

- ◎ マナーモード設定中でもカメラのシャッター音や録画開始/終了音、タイマー音は鳴動します。
- ◎ 「ドライブ」を選択した場合、着信時は運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。
- ◎ マナーモード設定中に消音の状態ではデータが再生された場合、機能によっては、再生中に (音量上ボタン) / (音量下ボタン) を押すと音量を調節できます。
- ◎ マナーモード設定中でも、おうちモード利用時に本製品を付属の卓上ホルダに差し込んでいるときは、着信音などが鳴動します。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「メニュー」や「≡」、「⋮」などをタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

スクリーンショットを撮影する

(電源ボタン) と (音量下ボタン) を同時に1秒以上長く押すと、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。保存完了後に通知パネルを開くと保存した画像を確認できます。



memo

- ◎ スクリーンショットを行った画像は、内部ストレージに保存されます。保存された画像は「写真/動画」(▶P.46)で確認できます。
- ◎ アプリや機能によってはスクリーンショットが動作しない場合があります。

画面メモを利用する

画面下部の「画面メモ」をタップすると、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)したり、保存した画像を参照することができます。

画面メモを撮影する

1 撮影したい画面で[画面メモ]

2 [この画面を保存する]

- ・表示中の画面が保存されます。

3 [閉じる]

- ・「見る」をタップすると保存した画面メモを確認することができます。
- ・「送る」をタップすると保存した画面メモをメールなどで送信することができます。

画面メモを確認する

- 1 ホーム画面→[写真／動画]
- 2 [画面メモ]→画面メモをタップ
・画面メモが表示されます。



◎ 画面メモを削除する場合は、画面メモを表示して[メニュー]→[削除]→[OK]と操作します。

ダイレクトボタンを利用する

ダイレクトボタン(☰)を長押しすると、あらかじめ設定したアプリを利用することができます。ダイレクトボタンに設定できるアプリは以下の通りです。

- ・音声検索
- ・radio+FM
- ・カメラ

ダイレクトボタンを設定する

- 1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[ダイレクトボタン]
- 2 [長押しした時の動作]
・「画面消灯中のボタン操作」をONに設定すると、ディスプレイが消灯中でもダイレクトボタンを利用できるように設定されます。
- 3 設定したいアプリをタップ
・「何も動作しない」をタップすると、ダイレクトボタンを利用しません。

ワンタッチボタンを利用する

ワンタッチボタンに登録する

ホーム画面下部の[] (ワンタッチボタン)に、よく連絡する相手を登録しておく、簡単な操作で電話をかけることができます。
・あらかじめ登録する相手の電話番号とメールアドレスを電話帳に登録しておいてください。

- 1 ホーム画面→未登録のワンタッチボタンをタップ
- 2 [OK]→登録する相手をタップ

ワンタッチボタンで電話をかける

- 1 ホーム画面で登録済みのワンタッチボタンをタップ
- 2 [電話]→通話
- 3 [電話を切る]

ワンタッチボタンでメール／+メッセージを送信する

- 1 ホーム画面で登録済みのワンタッチボタンをタップ
- 2 [メール]→[Gmail]／[]→件名／本文を入力してメールを送信する

■ +メッセージを送信する場合

- 2 [SMS]→本文を入力→[]

登録したワンタッチボタンを編集する

- 1 ホーム画面で登録済みのワンタッチボタンをタップ→[メニュー]
- 2 [登録を解除]／[連絡先を変更]



◎ ワンタッチボタンに登録した電話帳を削除すると、ワンタッチボタンの登録が解除されます。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

キーボードを切り替える

本製品では、次のキーボードを利用できます。

テンキーボード	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップするたびに文字が切り替わります。また、「フリック入力」(▶P.26)を行うこともできます。
QWERTYキーボード	一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップすると、ボタンに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。

設定キー



《テンキーボード》

設定キー



《QWERTYキーボード》

- 1 文字入力画面→[]→[キーボードの種類]→[テンキーボード]／[QWERTYキーボード]

テンキーボード／QWERTYキーボードで入力する

文字入力画面(テンキーボード)



《文字入力画面(テンキーボード)》

文字入力画面(QWERTYキーボード)



《文字入力画面(QWERTYキーボード)》

- 1 文字入力エリア
- 2 通常変換候補リスト／予測変換候補リスト
文字を入力すると、予測変換候補リストが表示されます。「日本語予測変換」をオフに設定した場合は、文字を入力して[]をタップすると通常変換候補リストが表示されます。
・「▼」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「▲」をタップします。

- ③ 設定キー
iWnn IME設定を表示します(▶P.26)。
- ④ 数字キー
キーボードを数字入力に切り替えます。
- ⑤ 英字キー
キーボードを英字入力に切り替えます。
- ⑥ かなキー
キーボードをひらがな入力に切り替えます。
- ⑦ カナキー
キーボードをカタカナ入力に切り替えます。
- ⑧ 記号キー
キーボードを絵文字／記号／顔文字入力に切り替えます。
- ⑨ カーソルキー
カーソルキー
- ⑩ 音声入力キー
文字を音声で入力します。
- ⑪ 削除キー
削除キー
- ⑫ 空白／他候補キー
 空白:スペースを入力します。
 ・文字未入力時や数字／英字入力中などに表示されます。
 他候補:予測候補の一覧画面を表示します。
 ・ひらがな入力中に表示されます。
- ⑬ 改行／確定キー
 改行:カーソルの位置で改行します。
 ・アプリや入力中の項目によって、表示が切り替わります。
 確定:入力中の文字を確定します。
- ⑭ 大文字／小文字切替キー
 大文字:入力した文字(ひらがな／カタカナ)を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
 小文字:入力した文字(英字)を大文字／小文字に切り替えます。
- ⑮ ソフトウェアキーボード
- ⑯ 記号／シフトキー
 記号:キーボードを絵文字／記号／顔文字入力に切り替えます。
 ・ひらがな入力中に表示されます。
 シフト:タップするたびに、大文字入力／大文字入力ロック／小文字入力を切り替えます。
 ・英字／数字入力中に表示されます。
- ⑰ 文字種切り替えキー
 タップするたびに入力する文字種が切り替わります。

※ 操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。

memo

予測変換について

◎ ひらがな入力中に「**予測**」をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。
 「**削除**」をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。

◎ 「日本語ワイルドカード予測」(▶P.27)または「ワイルドカード予測」(▶P.27)を設定している場合は、字数を指定して変換させることができます。カーソルが文末または未確定の文字の右位置にあるとき、「**▶**」をタップするたびに「○」が表示されます。「○」は任意の1文字とし、変換候補には入力文字数以上の候補を表示します。

フリック入力について

「テンキーボード」の場合、キーを上下左右にフリックすることで入力できます。キーに触れると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。そのまま入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」を下にフリックすると入力されます。

例:「お」を入力する場合



iWnn IMEメニューを表示する

- 1 文字入力画面→[✳]
iWnn IMEメニューが表示されます。
- 2

キーボードの種類	▶P.25「キーボードを切り替える」
引用	▶P.26「引用入力を利用する」
その他の設定	▶P.27「iWnn IMEの各種設定を行う」

文字入力の便利な機能を利用する

絵文字／記号／顔文字を入力する

- 1 文字入力画面→[記号]
絵文字／記号／顔文字一覧画面が表示されます。
 戻る:文字入力画面に戻る
 絵文字／記号／顔文字:絵文字／記号／顔文字一覧画面を表示
 削除:選択した文字やカーソルの左の文字の削除

2 絵文字／記号／顔文字を選択

memo

◎ 操作するアプリや画面によっては、一覧画面の表示方法が異なる場合や、絵文字／記号／顔文字の表示や入力ができない場合があります。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

- 1 文字入力画面→文字入力エリアをロングタッチ→「**■**」／「**■**」をドラッグして、範囲を選択
- 2 [切り取り]／[コピー]
- 3 貼り付ける位置をタップしてカーソルを移動→**■**をタップ→[貼り付け]

引用入力を利用する

引用入力を利用すると、引用入力など、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

- 1 文字入力画面→[✳]→[引用]
- 2 [プロフィール引用]／[電話帳引用]

引用入力を設定する

引用入力を利用するかどうかの設定を行います。お買い上げ時は、「使用する」に設定されています。

- 1 文字入力画面→[✳]→[その他の設定]→[外部アプリ連携]
- 2 [引用入力]→[使用する]

iWnn IMEの各種設定を行う

iWnn IMEでのキー操作時の操作音やバイブレーションなどを設定できます。

1 文字入力画面→[✳]→[その他の設定]

iWnn IMEの各種設定画面が表示されます。

2	表示	キーボードタイプ	ソフトウェアキーボードのタイプを変更します。
		フルスクリーンモード	フルスクリーンモードを有効にするかどうかを設定します。
		候補表示エリア	ソフトウェアキーボードで文字入力する際に、予測変換などの変換候補リストを表示する行数を変更したり、常に候補表示エリアを表示するかどうかを設定します。
	予測／変換	日本語候補学習	日本語入力時、変換候補リストから確定した文字を学習するかどうかを設定します。
		日本語予測変換	日本語入力時、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中で入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
		日本語ワイルドカード予測	日本語入力時、ワイルドカード予測機能(▶P.26)を利用するかどうかを設定します。
		日本語入力補正	日本語入力時に入力ミスの修正候補を表示するかどうかを設定します。
		半角スペース入力	全角文字入力時でも、半角スペースを入力するかどうかを設定します。
		候補学習	日本語以外を入力時、変換候補リストから確定した文字を学習するかどうかを設定します。
		予測変換	日本語以外を入力時、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中で入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
		ワイルドカード予測	日本語以外を入力時、ワイルドカード予測機能(▶P.26)を利用するかどうかを設定します。
		入力補正	QWERTYキーボードで半角英字入力時、入力ミスの修正候補を表示するかどうかを設定します。
		自動スペース入力	半角英字入力時に、変換候補の単語を選択するとスペースを自動入力するかどうかを設定します。
		自動大文字変換	半角英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
		キー操作	キー操作音
キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレーションを有効にするかどうかを設定します。		
キー操作バイブ時間	キーをタップしたときの振動時間を設定します。		
キーポップアップ	タップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力のガイドを表示させるかどうかを設定します。		
括弧内カーソル移動	括弧(「」,「」など)入力時に、括弧内にカーソルを移動するかどうかを設定します。		
フリック入力	フリック入力機能(▶P.26)を利用するかどうかを設定します。		
フリック感度	フリック入力時のフリックの感度を設定します。		
トグル入力	フリック入力が有効のとき、同じキーに割り当てられた文字を、そのキーを繰り返しタップすることによって切り替えるかどうかを設定します。		
自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 ・カーソル移動後でも、` (濁点) / ` (半濁点) の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。		
外部アプリ連携	引用入力	▶P.26「引用入力を利用する」	
	プラグインへの全文送信	文字入力欄の全文をプラグインに送信するかどうかを設定します。	
辞書	日本語	▶P.27「ユーザー辞書に登録する」	
	英語、その他		
その他	学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 ・絵文字／記号／顔文字の入力履歴も削除されます。	
	設定リセット	iWnn IMEの設定を初期化します。	

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの読みと表記を、日本語と英語・その他の入力モードそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 iWnn IMEの各種設定画面→[辞書]→[日本語]／[英語・その他]

ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 [:]→[登録]

3 読み／単語を入力→[OK]

memo

- ◎ 登録した単語を編集する場合は、ユーザー辞書単語一覧画面→編集する単語を選択→[:]→[編集]と操作します。
- ◎ ユーザー辞書単語一覧画面→削除する単語を選択→[:]→[削除]→[OK]と操作すると、選択した単語を削除できます。また、ユーザー辞書単語一覧画面→[:]→[すべて削除]→[OK]と操作すると、すべての単語を削除できます。

